

<対策のポイント>

食品産業におけるプラスチック資源の循環を更に高めるため、**使用済み飲料用PETボトルの新たなリサイクルモデルの構築**へ向けた取組を支援します。

<事業目標>

飲料用PETボトルの有効利用（100%〔令和12年度まで〕）

<事業の内容>

使用済み飲料用PETボトルについて、令和2年度に策定した新たな回収モデルを、複数の地域で実証し、全国展開に必要な効果（採算性、品質評価、安定回収等）の検証を行い、新たな回収リサイクルモデルを構築する取組を支援します。

1. 新たなリサイクルボックスの設置等による調査・実証
2. 新たな回収リサイクルモデルの採算・効果等の評価・検証

<事業イメージ>

1. 新たなリサイクルボックスの設置等の実証

既存のリサイクルボックス



リサイクルボックスをゴミ箱と誤認し、回収容器に異物（タバコなど）が混入しリサイクルを妨げることなどが課題

新たなリサイクルボックス



2. 新たな回収リサイクルモデルの検証

モデルの効果を検証
（採算性、品質評価、安定回収等）



新たなリサイクルモデルの構築



<事業の流れ>

